# レイアウト設定にて ペーパー空間左下を 座標 ( 0 , 0 ) にするには

ペーパー空間に図面枠やビューポートを描く際に、印刷用紙（画面の白い部分）の左下の座標が（ 0 , 0 ）になっていると便利です。

## ■ やりたいこと

A3ヨコのレイアウトを作成し、左辺から20mm、右辺・上辺・下辺から10mm 離れた矩形を描きビューポートに設定する。

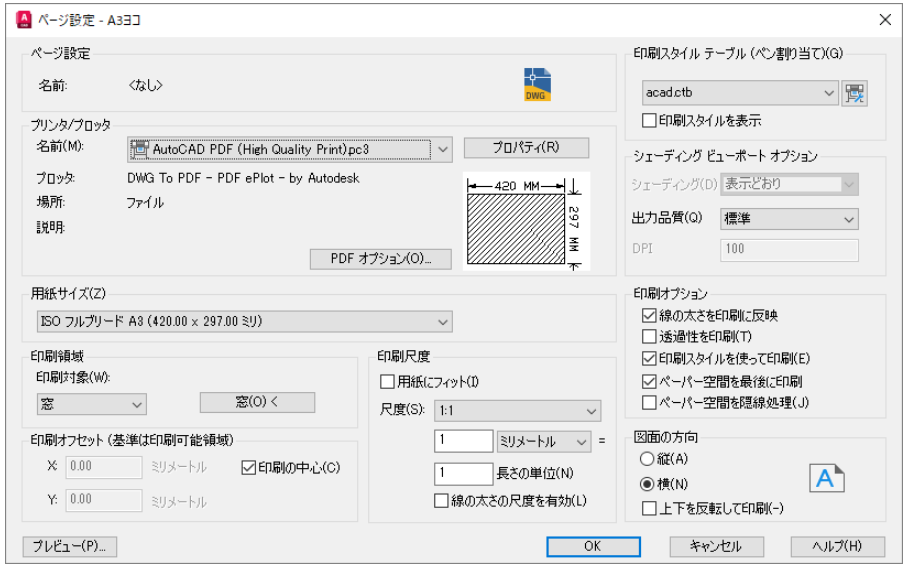
## ■ 手順

① レイアウト名称を「A3ヨコ」に設定
名前はなんでもよいのですが、「A3ヨコ」にします。

② ページ設定管理ダイヤログにて設定

・設定するレイアウトを選択し、「修正」釦をクリックしてページ設定ダイヤグラムを表示
・プリンタはなんでもよいのですが、AutoCAD にインストールされている「AutoCAD PDF(High Quality Print).pc3」を選択
・用紙サイズに「ISO フルブリード A3（420.00 × 297.00 ミリ）」を選択
※ 選択したプリンタによっては、「ISO フルブリード A3（420.00 × 297.00 ミリ）」はありません。
他のA3（420 × 297 ミリ）を選択してください。
・印刷領域に「窓」を選択。
・最初のコーナーを問われるので、0,0 を入力。もう一方のコーナーを問われるので、用紙サイズの 420,297 を入力。
・印刷オフセットには「印刷の中心」にチェック（この時、X、Y ともに、0.00 ミリメートルになるはずです。）
・印刷尺度は、「1:1」を選択。
・印刷スタイルテーブルは任意ですが、通常のカラーであれば「acad.ctb」を設定。
・図面の方向は、「横」を選択。
・その他の設定は、任意です。
・「OK」釦をクリック（ページ設定ダイヤグラムが閉じる）
・「閉じる」釦をクリックして設定終了です。

※ 用紙サイズが、フルブリード（フチなし印刷）の場合に限り、印刷領域に「レイアウト」を設定し、オフセットに X、Yともに 0.00 を設定することで、ペーパー空間左下を原点（ 0 , 0 ）にすることができますが、プリンタ／プロッタの機種や設定によってオフセット値を変更しなければならないため実用的ではありません。
上記、② の方法を推奨します。

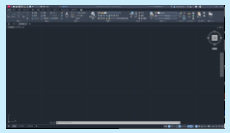



**ページ設定管理ダイヤログ**

③　ビューポートを作成

・既存のビューポートを削除
・RECTANG（長方形）コマンド起動
・一方のコーナーを問われるので #20,10 を入力（# は なくてもOK）
・もう一方のコーナーを問われるので、#410,287 を入力（#を入れないと、絶対座標にならないので注意）
・MVIEWコマンド起動し、オプションの「オブジェクト(O)」を選択
・描いた長方形をクリックして終了。長方形のビューポートが作成されます。

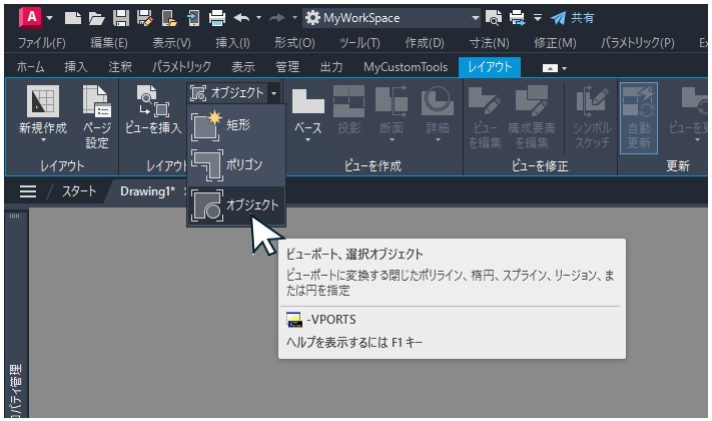
**手順①～③ を動画で見てみましょう**



**クリック**
**動画が再生されます**

**【MVIEW】コマンドの オブジェクト オプション**

MVIEWコマンド の オブジェクトオプション は、閉じたポリラインにて表現された図形を、ビューポートに変換することができます。

[レイアウト タブ] – [レイアウトビューポート パネル] の [オブジェクトアイコン]からも、選択した オブジェクトを ビューポートに変換することができます。

便利なので覚えておきましょう。